



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく!」
～長崎県を活性化するために、会勢700名を達成しよう～

経営指針策定セミナー 開催報告

日時：2月13・14日(土・日) 会場：いこいの村長崎



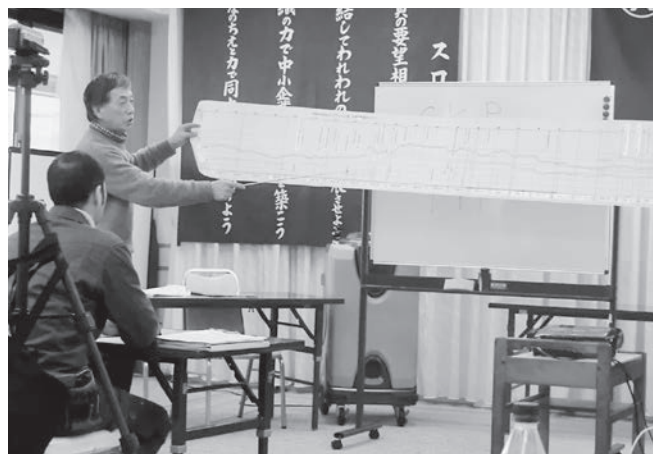
「経営指針とは、経営者が責任を果たすための羅針盤」

講師の宇土さんから、経営指針は、①経営者のリーダーシップの原点であり拠り処 ②経営者の最も大切な仕事は、組織に明確な方針を示し、活性化させること ③経営者も社員さんもゆるぎない価値判断の基準を持つことになるとの説明を受けセミナーへ。

セミナーは、①経営方針を考える ②経営計画を作るに絞り組み、宇土さんが作成されたテキストを参考に、解り易く解説、フォーマットの作成、そして発表と参加者は深夜まで真剣に取り組みました。フォーマットは掲示板に掲載中です。ぜひ参考にして下さい。

「経営指針書づくりは覚悟もって取り組む」

松田卓さんの気合の入った『実践コール』を紹介しま



しょう。お腹から力を振り絞り

「実践 実践 また実践
挑戦 挑戦 また挑戦
修練 修練 また修練
やってやれない ことはない
やらずに できるわけがない
今やらずして いつできる
俺がやらねば 誰がやる
やって やって やり通せ」

「経営計画発表会こそ共育ちの第一歩」

豊福和明さんから実践報告がありました。2月6日に経営計画発表会を開催されたばかりの豊福さんか

目次

経営指針策定セミナー 開催報告	1	事務局企業訪問	14
2月例会報告	2	入会会員紹介	15
中同協 第46回 中小企業問題全国研究集会 in 香川 参加報告 ..	9	第45回定時総会開催案内	16
女性部会・障がい者問題担当委員会 第3回例会 開催報告	11	4月総会・例会案内	16
(株) 福祉工房 K's (佐世保支部 豊福会員) 経営計画発表会 参加報告 ..	12	理事会議事録 抜粋	17
(有) 山崎マーク (佐世保支部 山崎会員) 経営計画発表会 参加報告 ..	13	会員消息・会員数	18



ら、なぜ経営計画発表会をするのか？ この問いに明確な答えをいただきました。

経営計画発表会は企業にとって新しい航海(一年)の出航式と位置づける会議です。社員一人ひとりが、経営計画書を実践書として身近に感じ、会社(組織)・個々のビジョンの達成を全社一丸となって、誓い合う会議にされています。すごい！です。

発表会は自社のファンづくりに、そして社員さんが自分の言葉で発表することで意識の高揚を生み、更には経営者の成長へと繋がっています。ここに長崎県内唯一の「幼老総合ケア施設えびす」の強さと凄さを感じました。



経営計画発表会は、社長と社員さんの「実行の質」を向上させるという新たな気づきをいただきました。

同友会では、例会報告、中小企業家しんぶん、DOYUニュースで度々経営指針書の重要性を訴えています。しかし、やり方作り方が良く解らない。そんな会員さんのお手伝いを経営・労務担当委員会は担っています。

皆さん支部の経営・労務担当委員会に参加し、共に学びましょう。気づきのチャンスがそこに必ずあります。

(文責 経営・労務担当委員長 吉澤 健)

長崎支部浦上地区会 例会報告

日 時	2月24日(水) 18:30
会 場	ホテルニュー長崎
テ ー マ	「がん」になったからこそできる事 ～スナックのママがNPO法人を立ち上げた!!～
報 告 者	ラウンジ葵 代表者 吉村 市代 会員(佐世保支部会員)



「あなたはがんにならない自信はありますか?」「がんになった時、あなたの生命は?家族は?会社は?治療費は?」そう問われた時、皆さんはどう答えますか? 現在、二人に一人はがんになるといわれております。

吉村さんはラウンジ葵を経営されながらNPO法人葵会(女性特有のがんの早期発見啓発、社会的認識を



高めるためのキャンペーンを行うなど)の代表も務められています。ご本人ががんと経験されたからこそ、言葉に重みと現実味がありました。その時の悩みや苦しみは計り知れないものがあったと思います。

吉村さんの報告で、がんや大病になる可能性をリアルに考え、その時の備えや会社の仕組みづくり、家族孝行をしていくきっかけになりました。そして周りの人たちにも啓発していこうと思いました。経営者、社員ともに健康な身体があってこそ、健全な会社経営です。

今回は私、橋本が例会の担当だったのですが、私の中では「女性が輝く」というテーマも同時に考えておりました。座長に佐世保支部の横石たまきさん、室長に浦上地区会の金田昭子さん、他支部やオブザーバーにもたくさんの女性の方に参加、ご協力をいただきまし



た。女性の皆様のさらなる活躍が、今後の同友会の発展の要となっていくこと間違いなしです。

そして千葉同友会千葉東支部からもたくさんの仲間が駆けつけてくれました。皆さんエネルギッ



シュで活動的であり、大都会での競争を生き抜いてきた経営者なのだなと感じました。そして同友会への愛や想いも強く感じられました。

吉村さんもおっしゃっていた「偶然ではなく必然」「出会いとご縁に感謝」ということがものすごく実感できた例会になりました。参加していただいた皆様、誠にありがとうございました。

(文責 橋本 裕次郎)

長崎支部出島地区会 例会報告

日 時	2月17日(水) 18:30
会 場	メルカつきまち 5階ホール
テ ー マ	NPO 法人ハッピーワークの創業期における マネジメント ～人に関するマネジメント～
報 告 者	(株)office すえつぐ精一 代表取締役 末次 精一 会員(北松浦支部)



末次さんは、佐世保市で生まれ京都大学工学部を卒業後、旧川崎製鉄(株)(現・JFEホールディングス)に入社されます。その後退社し、平成5年に衆議院議員小沢一郎氏の秘書になり、平成19年から長崎県議会議員を2期目の途中まで勤められました。

平成18年に中小企業診断士の資格を取られ、平成23年には議員をしながら長崎大学大学院に入学。卒業後MBAの資格を取得。平成27年にはCDA(キャリアコンサルタント)の資格も取得されています。

障がいを持つ息子さんがいる知人から、なかなか良い事業所がないという相談があり、ちょうど障がい者施設関連で長年働いていた友人が定年退職で再就職先も未定ということで入社してもらい、他の知人も含めスタッフ8名、「社員も利用者もハッピーに！！ 業界平均の2倍の工賃を！！」と満を持して平成24年7月に事業を開始。しかし、利用者も思ったように集



まらず、頼りにしていた障がい者関連のスペシャリスト社員が体調不良で3ヶ月で退職。他の社員も意見の食い違いから辞めるという声が続出。資金繰りも悪化。自分の会社でありながらも会社に行く事さえつらい日々が続きます。

「失敗の原因は何か？」自問自答する中、「仕事とは欠点を克服し自己成長していくもの。」という、自分の経験から培った仕事観・人生観を社員に押し付けていた自分に気がきます。改めて様々なセミナーに参加し、経営力とは、社長力(他人のせいにはしない)×組

織力(社員へのリスペクト)×経営知識(自己啓発・自己投資)であって、どれか1つが0(ゼロ)ならダメ、コンサルタントでありながら経営をいかにわかっていなかったかということに気付き、その後は社員との接し方も変わり事業も成長軌道に乗り、社員との関係もよくなり、辞めずに残った社員は今では右腕

と言えるくらいに頑張っているそうです。

わかりやすい末次さんの話に参加会員も強く共感し、懇親会では「ハッピー!!」とオブザーバーの入会宣言が乱れ飛ぶといういつにない例会となりました。

(文責 中村 真一郎)

大村支部 例会報告

日 時	2月17日(水) 18:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	事業継承後の経営戦略 ～志(目的・目標)なくして成果なし～
報 告 者	(株)琴花園 代表取締役 大塚 真一 会員



大塚さんは子供の頃から植木屋さんといわれていたこともあり、造園の勉強ができる市内の高校、東京の短期大学と進み、東京の造園設計事務所に就職されました。この設計事務所に就職したことがきっかけでフランスへ3か月の予定で剪定鋏と地下足袋だけ持って渡ることになり、現場では多くの国の人と握手や大村弁と片言の標準語、そして身振り手振りでコミュニケーションを取りながら働き、最終的には1年半もの期間を経て帰国されました。

その後一つの現場の設計・管理をしたいということで台湾へ渡り3年間仕事をし、海外での多くの経験を積まれました。

海外での経験によってわかったことは、人と接する際には言葉以上に気持ちが大事で、人は好き嫌いの気持ちが言葉以上に態度に出てきてしまうので、そういった感情で人と接するのではなく、まず相手を思うことから努力していくことが必要になってくる。そのため、自分の会社の社員とうまく付き合っていくためにそういった気持ちが必要だと話されていました。

海外での仕事を終え日本へ戻り、嬉野のホテル改修プロジェクトに携わったことから29歳のときに地元へ戻ることになり、今の(株)琴花園へ入社されました。



ハウスメーカーの外構工事からホテルの庭の設計、お墓のプロジェクトなども手掛けられ、何事にも恐れず立ち向かっていけば何かが見えてくる、頑張ればそれだけ仕事が自然と寄ってくるということがこの経験からわかったそうです。

同友会には、大村へ戻った翌年に入会され、代表取締役役に就任された後に経営計画書作成にチャレンジされています。福岡同友会で開催された「あすなろ塾」への参加や、大村支部の会員の方の協力もあり、2012年より経営計画書の報告会も毎年実施されているとのことでした。

報告の中でもお話しされた、経営計画書は「社員との約束」でもあるという言葉が非常に印象に残りました。たくさんの方の方がいらっしゃって、一つにまとまっていくことはそう簡単ではないと思います。しかし、経営計画書を全員に示すことで社員の方々は具体的な方策や目標などはもちろん、その中心にある大塚さんの社長としての気持ちが感じられるのではないかと思います。

今回の報告を聞いて、自社でのこと、自分の将来のことを改めて考える、いいきっかけをいただきました。大塚さんのような経験はなかなかできませんが、自分なりにいろんなことにチャレンジして多くの経験を積んでいきたいと思います。

(文責 橋口 仁一)

諫早支部 例会報告

日 時	2月17日(水) 18:30
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	心が変われば行動が変わる
報 告 者	(株)トータス 代表取締役 高橋 攄見 会員



今回の報告は1か月前の告知があつてからとても楽しみでした。と言うのも報告者である高橋さんは、諫早支部の初代支部長で監事でもあります。最近ほとんど例会に出席されませんのでこれまで過去の話聞いたことがありません。どことなく優雅で余裕がありこれまで悠々と過ごされてきたような印象を持っていましたので、どのような報告をしていただけるのかと思っていたからです。

報告で高橋さんはサラリーマン時代全国に赴任した時、「自分は運が良かった」と述べられていましたが、行く先々で業績を上げてきたのは単に運だけの問題ではなく、状況を見極める目や社員をやる気にする術を十分理解されていたからだと感じました。

長崎へ戻って設立した会社で部下7人の内5人の役員が一斉に辞め、残ったのは新人社員2人のみ。流石に困り果てたものの「原因は自分」と自らを戒めそれま



での態度を改め、ゴルフ・飲食を一切辞め愚痴をこぼさず働き続けました。「変えるのは心・変えないのは志」の精神で難局を乗り越え、最終的には自分を裏切った元社員を再雇用するという度量の深さにまさに感銘を受けました。

私たちが普段見ている姿からは想像もできないほど影では頑張っているのに、表では涼しい顔を見せている。白鳥を思わせるようなそぶりの高橋さんの妻さがわかりました。

高橋さんの人生の転換点は会社の事業の見極めで、卸部門から撤退を決意し調剤薬局1本に集中させた点でしょう。伸び悩んでいたとしてもこれまでの大きな事業の柱をメーカーへ完全に委託した点はまさに潔さを感じました。経営資源の集中を地で行なっていたのです。人を動かす術に長けていて、苦勞を表に出さず苦勞を続けてきた先に成功があると感じました。

余談ですが、会社名の「トータス」は英語で亀のことですが、長生きという意味やイソップ童話のうさぎと亀での目標をしっかりと見据えるようにと付けたそうです。(他にも意味はあるそうです)今後のご活躍を祈念いたします。

(文責 村山 和幸)

島原支部 例会報告

日 時	2月15日(月) 19:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	思い・想い・念いが経営者の原点 ～思いついたら動く事が原点～
報 告 者	思想念グループ 会長 園田 義夫 氏

「いいと思ったらすぐ実行、ダメなら即やめる」そう園田さんは何度も繰り返した。自身その言葉通りに実行して事業を大きくしてきた。35歳の時、日経流通新聞で食材の宅配サービスの記事を見て、これはと思



い、すぐに静岡へ話しを聞きに飛んだ。話しを聞き終えると、その場で契約。資金の目処も、何の計画すらない状態で、である。なんとなかなるだろうと思ったとの事。余談だが、奥さんとの結婚も2週間で決断したそうである。1978年5月に(有)長崎ディナーサー



ビスを設立。11名のスタッフでのスタートだった。しかし、まだ食材の宅配サービスの知名度も低くすぐに資金繰りに窮することになる。

そこに転機が訪れる。8月15日NBCの6時のニュースで面白いビジネスがあると放送されたのだ。時間にして一分半位だったが、それから電話が鳴りっぱなしで問合せは300件をゆうに超えた。

知名度も上がり注文が殺到。商品が遅いとクレームが出るようになり大幅に増員した。11月には配送車は30台となり、翌年には40台を超え次々と営業所を開設していった。また、レトルトパックの工場を5億かけて建設したことがあったが、レトルト臭がするとクレームがきて即撤退を決意。機械等全て撤去してしまった。正にダメなら即やめるである。

そんな園田さんだが、大きく売上が落ち込んだ時期があった。自分自身周りが見えていないと思い、四国のお寺へ行き瞑想し、3ヶ月間一切社員との連絡を断った。社員がどう動くかを見てみたいという気持ちもあった。3ヶ月後、帰って来てみると景色が違って



見えたという。そして次々と手を打っていった。

300人の配送社員を請負に変更、売上の18%を支払うことにした。給料の手取りも増え、皆のやる気も上がった。本業7割、物販3割の売上だったのを、物販をやめ本業のみにした。種類も12種類から3種類へと絞り込んだ。業績は急回復してどんだのびていった。

園田さん曰く、社長は無理してでも時間を作って頭を空っぽにすべきであるとの事。一時は株式上場も考えたとのことだが、さらに事業を拡大するには大手の力が必要と判断し、日本M&Aセンターの仲介でワタミを紹介され話し合いを進め、提携ではなく売却を決断。社員の雇用と社内システムは維持して欲しいと確約をもらい売却。普通、売却したお金で悠々自適な生活を送ろうと考えそうだが、園田さんは高齢者の充実した老後をサポートする事業を立ち上げた。遊湯シニアランドを運営する(株)ジャストインケアや、くらし応援隊を設立し73歳の今でも血気盛んだ。

毎日2万歩歩く園田さんは、80歳になったらまた違う事業を始めたいと熱く語る。決断する時の基準は何ですかとの問いに、答えは「勘です」と。冗談かと思ったが、日頃から瞑想で頭と心を研ぎ澄まし、本質を見抜く力を養っているので迷わず行動に出来るのだと強く感じた。

(文責 坂田 考功)

佐世保支部 例会報告

日 時	2月26日(金) 18:30
会 場	アルカスSASEBO
テ マ	いつも笑顔のわけ ～ Studio Dream からの夢のはじまり～
報 告 者	Studio Dream インストラクター 関 ひろみ 会員

いつも笑顔のトータルビューティー Studio Dreamの関ひろみさんは、高校卒業後に美容学校へ進学し美容師の道へと進みました。20歳の時に結婚され、その後すぐに出産。そして結婚10年目で離婚。お子様との二人三脚の生活が始まります。美容師を続けながらの子育て。そして現在の旦那様との出会い。家庭と仕事の両立を考慮して、美容師からエステティシャンへの転職を決意します。働く女性、起業したい女性をサポートするシステム『オーナーシップ制度』を活用し



独立。SNSやソーシャルメディアを活用しての積極的に情報発信しながらの店舗運営。

現在は主婦業をこなしながら、エステサロン経営だけに留まらず、出逢った方々とのご縁を大切にし、さまざまな活動に取り組む関さん。その笑顔には、色々



な事を乗り越えてきた強さ、そして人を惹きつける明るさが満ち溢れています。

美容業界に携わる中で関さんが学んだ事、それは『健康の大切さ』。生きていく中で一番大切なのは健康。自分自身の体調に耳を傾け病気になる前に予防する事が大切。経営と同じく、健康への取り組みも毎日の意識



改革から。何事も続ける事が大事です！と笑顔で力強く報告する関さん。報告の途中、自分で出来るセルフリンパ体操を教えてくださいました。

「さまざまな環境の中で頑張っている女性の皆様に『美を楽しむ事』によって、生き活きと過ごす事が出来る様にお手伝いをして行きたい。そして、健康について学んだ知識を活かし、適切なアドバイスや指導を行い、一人でも多くの方が健康に過ごせる様に、サポートして行きたい」とこれからのビジョンを生き活きと語る関さんに、美と健康を通じて人の役に立ちたいという理念を強く感じました。

(文責 村上 敦子)

北松浦支部 例会報告

日 時	2月17日(水) 18:30
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	マイ ライフ ～波乱万丈な人生。その先に見えた本当に大切なもの～
報 告 者	Studio Dream Angel 代表者 金田 昭子 会員(長崎支部 浦上地区会)



恒例の握手タイム、オブザーバー、他支部会員、新入会員紹介の後、池野支部長より挨拶をいただいた。

長崎支部浦上地区会よりお越しいただいた出口一隆さんの座長のもと金田昭子さんより報告いただいた。凛として気品溢れる印象を受ける金田さんは、会場に向けて、そっと語りだした。彼女のその落ち着いた雰囲気からは想像しがたいほど、波瀾万丈な経験が溢れ出す。日本ならではの先代から続く伝統工芸を営んでいたご主人は、時代とともに厳しくなっていく経営の中で苦しみ、自らの命を絶ってしまった。残されたの



は、金田さんと二人の子供たち、そして借金だった。

化粧品代理店業を本格的に始動し、女手一つで、一家の大黒柱として家庭を支えた。数々の障害を抱えながらも、新たな生活が始まり、子供たちも自立の時を迎え、大きな関門を乗り越えたかのように思えた。そんな時、息子さんを癌で亡くしてしまう。この出来事が、彼女の健康に対する意識を大きく変えた。以降、長女が彼女の支えでもあり、また後継者でもある。美容に加え、長男が教えてくれた「健康」にも重点を置いた事業を展開されている。

今回、女性の参加者が多かったが、働く女性は現代社会において大きな活力となっているため、女性としての労働観や生き方も、参考になっただろう。様々な困難を乗り越え、健闘し続ける彼女の姿に、涙する参加者も多く見られた。

その後「経営者にとって本当に大切なものは何か？」をテーマにグループディスカッションを行い、様々な意見が発表された。

閉会の後は、交流会も盛り上がり無事に例会は終了となった。座長の出口さんと金田さんは同級生でもあ

り、経営者としてのあり方を共有する為に同友会への入会を勧めたことで、金田さんの事業は更に拡大することとなった。そこには親友としての深い絆が感じら

れた。

(文責 有光 亮太)

五島支部 例会報告

日 時	2月24日(水) 18:30
会 場	総合福祉保健センター
テ ー マ	なぜ今同友会なのか
報 告 者	長崎同友会事務局 次長 峰 圭太 氏



2月例会は新年度を迎えるにあたり、もう一度、同友会とは何なのか、同友会会員としての活動意義を再認識していただくという意味を込めて、仕事として会員とは別の視点から、同友会のことを熱く想い行動している峰事務局次長を報告者として迎え、その想いを報告していただきました。

最初に同友会に関する簡単な質問をいただきましたが、参加会員で全問正解した方はおらず、普段何気に聞き流している同友会用語も正確な理解はなされてい



ないのを改めて感じました。その後、三つの理念、三つの目的等、同友会の基本的なことで大切なことを噛みくだきながら報告いただきました。

グループディスカッションは、「あなたは同友会にどのように関わっていきますか？」というテーマで話し合いました。会員それぞれの仕事の状況や立場から様々な意見が出ていましたが、最終的には同友会に関わっていくにあたり、受け身の方と、積極的に参加し活動する方では得るものが全く違うということでもとまったかと思います。

今回、峰事務局次長の同友会に対する熱い想いに触れることができ、五島支部ではより一層積極的に活動ができるよう会員間のコミュニケーションを深めて、仲間を増やしていきたいと思いました。

(文責 勝本 政裕)

青年経営者会 例会報告

日 時	2月22日(月) 19:00
会 場	同友会事務局
内 容	徹底討論 来期の青年経営者会について ～我思う 故に青経あり～

今回は、来期の青年経営者会(以下、青経)についての会議を行いました。実は、この文を書いております私、橋本が来期の青経の会長をさせていただくことになっております。例会には会員が7名、事務局から峰さんが参加しました。

青経も出席率の低下が深刻な問題となってきております。そこで会員の皆さんから率直な意見を出してもらいました。一番多く出た意見として「青経の魅力



は何だろう?」「青経と親会(支部や地区会)との違いは?」がありました。

青経は、45歳以下の若手経営者もしくは後継者しか入会できないという制限があります。若い世代の人間が集まって仲間となり、同世代ならではの熱い話や夢を語れる場所でもあります。そのような特性のある素晴らしい会なのだという認識が会員間で深く共有できていなかったのかもしれません。来期はもっと会員間で連絡をとり合い、仲間づくりに重点を置くことにしました。そして、青経でしかできない事をもっともってやっと思いしました。他にも具体的な意見として、企業訪問例会を増やしていくことになりました。

現会長の山口善也さんは、3期会長を務められました。自社の事業承継で多忙な中でも精力的に同友会の活動をし、全国大会にも積極的に参加し他県同友会の若手経営者とのパイプを繋げてきてくれました。他県の会員の皆さん方と交流することで学びや刺激をたくさんもらったと言われてます。私もそんな山口さんを見てきてものすごく薫陶を受けております。切磋琢磨し合える仲間がたくさんいる事は幸せだと思います。

今後とも青経を盛り上げていくべく、来期も精進していきたいと思ひます。

青経OBの先輩方にも知恵と力をお借りしたいと思ひますので、どうぞ今後とも青年経営者会をよろしくお願ひいたします。

(文責 橋本 裕次郎)



中同協 第46回 中小企業問題全国研究集会 in 香川 参加報告

開催日：2月18・19日(木・金)

第1分科会

いま経営者に求められる時代認識

～見えてきたアベノミクスの本質と中小企業の進む道～

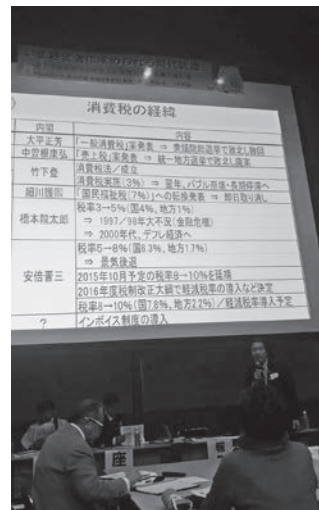
大阪経済大学 経済学部地域政策学科 教授 梅原 英治 氏

同友会事務局 峰 圭太

全国的にも、私の中でも学ぶ必要がある税制に関する分科会です。アベノミクスがもたらした効果は実態経済にどのような影響があったのか、また今後日本の税制はどのようなことが求められるのか、健全な税制なのか、報告者の大阪経済大学梅原さんから実際の数字をもとに報告をいただきました。

日本経済のデフレに関しては欧米諸国と比べ、日本の賃金が伸びていないことに起因する、日本国債の現状など初めて知る情報も多く新しい学びにつながりました。グループディスカッションにおいてはアベノミクスの財政・税制改革が自社にもたらした影響、あるべき税・財政改革について討論しましたが、私のグループでは主に円安による地域経済効果について議論しました。観光客の取り込み、商材の値上がり等様々な意見が出た討論時間でした。

本分科会のまとめとしては、アベノミクス効果は中小企業や国民に役立っているものではないが、憲章の



理念に基づき地域を支える元気な中小企業をつくろうということで閉会しました。

二日目、今回私が最も聞きたかった徳武産業(株)十河さんの記念講演でした。障がいをもたれた高齢者のために「人生最後の靴」を製造している徳武産業(株)。「日本でいちばん大切にしたい会社」の書籍でも取り上げられており、本で拝見した内容を実際の生きた言葉で聴くとこれまでの苦労、決断、地域との共生、お客様と向き合う覚悟などその経営にはただ涙するばかり

でした。会場全体でも涙する方も多く、今回の講演の内容から自社をより発展させようと多くの会員の方が誓ったのではないのでしょうか。

2019年には長崎全研があります。参加される全国の皆様、長崎の会員の方と深い学びが共有できるよう今一度身と心を引き締めた二日間でした。参加させていただきありがとうございました。

第8分科会

全ての始まりは指針書から

～同友会と自社経営は不離一体～

(株)三好製作所 代表取締役
香川同友会 高松第4支部 幹事長

三好 幸司 氏



佐世保支部 村上 敦子

全国から約1,300名の会員が集まったの研究集会。感想は「今回の全研に参加する事が出来た幸運に感謝！」その一言につきます。本当に大きな学びを得た2日間でした。

起業して半年間売上ゼロ、そんな中での同友会との出会い。同友会活動に積極的に参加し、ついたあだ名

は『NOとは言わない三好』勧められるがままに経営指針を創る会にも参加し経営理念と指針書の完成。その後、新卒社員を雇用し、10年後のビジョンは『10人のスペシャリスト集団を作る事』と語る三好さん。同友会のプログラムをフルに活用され会社を発展させている三好さんに沢山の事を学んだ報告でした。

グループ討論では、指針書をどう浸透させるか？が大きなテーマとなりました。「指針書は作るだけでは何の意味もない。毎月のミーティングで指針書通りに進んでいるかをチェックし、修正と追加を重ね、1年間通して指針書を成長させる事に大きな意義がある」という結論となりました。

2日目は分科会報告に始まり、その後記念講演。徳武産業(株)十河孝男さんのテーマは「足もとに笑顔を届ける会社～奇跡を起こしたピンクの靴～」昭和32年手袋縫製工場として創業。義父の急逝による社長就任や従業員との対立、業績不振、会社の存続をかけ新しい分野への取り組み、さまざまな荒波を乗り越え出逢ったのが介護シューズの開発。「経営は損得ではなく、善悪である」と語る十河さん。そのぶれない理念に基づいた経営方針と会社挙げての取り組みに、心を打たれ涙が止まりませんでした。ふと横を向くと、佐世保支部の山領さん、事務局長の峰さんが涙されており、前の席では熊本同友会の早咲さんが号泣。会場中に感動の嵐が巻き起こった講演会となりました。

第10分科会

七転び八起き、マツリカ経営で見えてきた光

～社員で悩み、社員に助けられた～

(有)茉莉華 代表取締役
高松第7支部 副支部長
社員教育委員会 副委員長

松本 美帆 氏

佐世保支部 山領 進

松本さんは中学校職員から身を転じて、長年の夢だったエステのお店を開業します。当初は順調に事業が成長していきますが、ある時社員全員から同時に



辞表が出され、大きな挫折を味わいます。しかし、ここから同友会との関わりの中で変革がなされていきま

す。

彼女は社員と「一対一で話すことが苦手」という自身の弱点を認識し、そこから逃げずに社員一人ひとりと真摯に向き合います。そして経営指針を作り、独自の会議の形を生み出し、スタッフハンドブックを社員と共に作成していきます。このスタッフハンドブックは、いわゆる就業規則なのですが、会社内の所定の位置に置いてある一般的な就業規則とは違って、全社員が携帯しているモノで、内容も社員が中心になり作成され、必要に応じて折々で改訂されるとのことで、正に血の通った就業規則となっています。会議の方法も、社長と社員或いは幹部と社員間のコミュニケーションに配慮がなされており、いずれも社員を大切にする経営者の姿勢が伝わってくるものでした。

記念講演は、足に難のある障がい者、高齢者のケアシューズのトップメーカーである徳武産業の十河さんの講演でした。色々な多事多難な出来事を乗り越え、

何度も業態変更の末に辿り着いたケアシューズにおいて、日本で大切にしたい会社大賞「審査員特別賞」を受賞されています。ケアシューズの利用者からの沢山の喜びの声、感謝の便りなどが紹介されましたが、自社の商品、更には商品に込められた思いが伝わり、人に喜んでもらえることが、社員にとっても無上の喜びになり、モチベーションに繋がっていること、そして何物にも勝るような「誇り」になっていることを感じました。最後に印象的な話としては、大きな経営判断を要する場面で、十河さんの基準は「損得より善悪」であり続けたことと話されていたことです。

また全国大会の良さは、他県の多くの素晴らしい経営者に会えることです。私自身としては同業他社から、新たな情報がもたらされ、近々詳しい話を聞かせてもらえそうです。模範とすべき経営者が沢山来ているので、今回もまた本当にいい刺激をいただくことが出来ました。

女性部会・障がい者問題担当委員会 第3回例会 開催報告

開催日：2月1日(月) 17:00 会場：グランドファーストイン佐世保

テーマ：「人としての基礎・土台創り」～子育てのプロから学ぶ～

「ゆりの樹式～人生に生かすカウンセリングマインドとは～」♪人づきあいが楽になる魔法♪

報告者：学校法人 高杉学園 ゆりの樹幼稚園 園長 高杉 美稚子氏



現在、大学の非常勤講師やテレビ、ラジオ、書籍など国内外で活躍されていらっしゃる高杉さんは、福岡県内で「ゆりの樹幼稚園を複数経営されていますが、彼女の人生は27歳の時に(1983年)に大きく変動。父(前園長)夫(現理事長)の不慮の事故により園長に就任。

博多区吉塚と宗像市の玄海と地島にあるゆりの樹幼稚園では、「自分が大好きで、自分が信じられる」教育を目指し、「人はまず、自己肯定感を持つことで心の土台をつくります。自分を愛することができれば、人を愛することができ、自分を信じることができたなら、人を信じることができます」と高杉さんは述べられま



した。

こうした心を育むために、園では、「その年齢に不可欠な適時適量の刺激をもった体感(体験)教育」や三つの教育①共育(子供と同じ目の高さで、同じ純粋な心を持って、教師・保護者が共に育つ)②響育(感動と思い出をもって心と心が響き合う)③驚育(驚きと発見の連続を育てる)を大切にしており、子供たちが「不思議だな、何だろう」と感じたことを探求しながら自ら選択・決断し、解決していく体験は、自己コントロール力を養い、子供たちに本物の自信と自立をもたらすのようです。

また、エコの園舎を建設され人気も高まり園児の増



員につながったことなど、幼稚園の現場で30年以上の間、園児の教育と母親の相談、私立幼稚園教諭の育成をしてこれ学ばれた心理学の理論をベースに楽しく、面白く、あっという間に報告の時間が経ってしまいました。

先生は、ドラえもののポケットの様にたくさんの引



出しをお持ちで、会が始まる前に参加者の雰囲気を感じて、準備されていた報告内容を少し変えて話されました。参加者の中には、幼稚園の

先生だから子育ての話かなと思いきや経営に関しての鋭い内容に驚きの感想も聞かれました。

グループディスカッションでは「あなたが人づきあいで一番心がけていることは何ですか？」のテーマに各テーブルは、報告者の話を基に盛んに意見が出ていたようです。

ぜひまた時間をかけて高杉さんの講演をお聴きしたいと思いました。

(文責 佐世保支部 横石 たまき)

(株)福祉工房K's(佐世保支部 豊福会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：2月6日(土) 会場：セントラルホテル佐世保

【参加者の声】

1. (株)長崎地研 村山 隆之

第2回目となる今回の発表会に参加してまず驚いたのは、各社員さんのレベルアップでした。皆さん自信を持って話す姿を見て感じたのは、少数精鋭の組織に変化していることでした。また計画書の中身も数段充実した内容でした。ただ一点気になったのは、組織図の部分でした。それは、社長のすぐ下に位置するNo.2のポジションの役職者が不明であり、社長に事故がある際のリスク管理が不十分なところでした。それ以外は大変素晴らしくこれから3回目4回目と継続されることを切に望みます。

2. プライアント(株) 橋口 久

第1印象：スタッフのリラックス感(即応1年の成長実感・発表会開催が当たり前感)を感じた。発表会スタイル：社内対話型とても良かった。個人目標：皆さん具体的なストーリーがあり、この場機会を有効活用されている印象。個人目標の発表はやっぱり良いと実感(スポットライトを浴びながら、振り返り、反省、夢創造、目標設定、決意+共有の機会となる。プライベートな内容が多くそれが良い！プライベートを大切に出来る環境が仕事への懸命さを生む。部門別目標：第1回とは質・表現力が全然違う(説得力がある、第三の場で臆することなくできたのがこの1年の成力とみた)。ビジョン・中期：「それではスタッフの皆さん12ページをご覧ください」これが全てを物語る成長

力！イメージ図(夢を語る経営者はステキ！)現状確認・社員を鼓舞する内容良かった。経営計画書：記入できるスタンスが良い！これは、いつも会議で社員自ら実用できる良いアイデアだと思う。

3. (有)酒の一斗 池野 晋一

素晴らしい発表会でした。まだまだ成長する会社と言うのが感想です。仕組みの組み替え永久に続きます。お互いに頑張ってください。ありがとうございます。

4. (有)前川建材店 前川 優也

今回の経営計画発表会に参加し、スタッフの皆様の成長がハッキリと見てとれました。この一年の充実ぶりがあったからではないでしょうか。また、今期目標に向かって進んで福祉の世界に花を咲かせてください。



(有)山崎マーク(佐世保支部 山崎会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：2月10日(水) 会場：魚々の宿

【参加者の声】

1. 昌明機工(株) 中島 禎雄

昨年に引き続いて2回目の発表会に参加させていただき感じたことは、社長さんが社員さんを大事にされている事が感じられました。そして、社員さんが個人目標の発表を明るく楽しくされていたので山崎マークの明るい社風が伝わってきました。とても良い発表会だったと思います。

2. (有)前川建材店 前川 優也

経営計画発表会おめでとうございます。2回目の発表会で成長が一目で解る素晴らしい内容だったと思います。会社の雰囲気がバシバシ伝わってきました。それぞれの目標に向けて頑張ってください。私も自社の発表ができるようにしていきますので、仕事もプライベートも宜しくお願いいたします。

3. 村上彫刻 村上 敦子

素晴らしい経営計画発表会でした。厳しい経営環境の中、自社の強みは何なのか？何で勝負していくのか？等の課題が成文化され、これを皆でクリアして行こうという山崎さんの熱い思いが、しっかりと伝わってきました。経営計画書を基に、経営者と社員が目標に向かって行く姿勢、そしてチームワーク。まさに私が目指すべき会社・経営者の姿がそこにありました。

4. iSOLUTION JAPAN 八並 学

ものを作る山崎マークの経営計画発表会だったとすごく勉強させていただきました。連携がすごく感じられます。これからも宜しくお願いします。

5. (株)きゅーぶ 岡本 武志

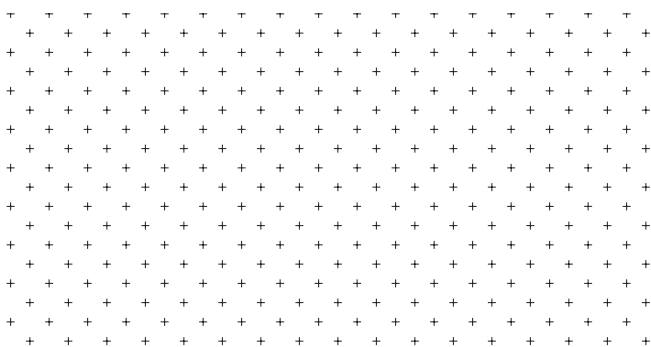
前回に引き続き参加させていただいて、経営者側と社員側がすごく近くなったように感じました。会社が一



つとなり目標に向かって行くこと間違いないと思います。すごく楽しそうです。

6. (株)福祉工房K's 豊福 和明

2回目の経営計画発表会おめでとうございます。山崎社長・専務の前期目標の振返り実行できたことの確認“成果”着実に経営計画書を実践されていることに感銘を受けました。また、外部環境からスポーツという柱からの脱却。私の業界そして他の会員にとっても大変参考になる経営方針でした。社長・専務が描く2017年2018年ビジョンそしてその先やはり経営計画書は成文化し有効活用すべき物ですね。短期間で実用化されている山崎マークの発表会は刺激パワーをもらえた貴重な時間となりました。今後とも課題解決に向け楽しんで切磋琢磨していきましょう。



瀧川 隆 会員(長崎支部 出島地区会)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000

事務局企業訪問

波佐見町に事業所を構える佐世保支部 野田洋市さんにお話を伺いました。



＜野田さんの素顔に迫る！＞

(株)野田武一商店は1926年に野田さんの祖父が荒物の行商を佐賀県佐賀市で行ったのが商いの始まりです。当初はホウキやタワシを取り扱っていました。その後、佐世保市へ移り二代目では荒物に加えて日用雑貨(洗剤など)を充実、三代目では線香ローソクに力を入れ始め得意先も日用雑貨店に加えて仏壇店や葬儀会社にお世話になるようになります。四代目では線香ローソク問屋からオリジナル商品企画会社として自社オリジナル線香やオリジナルリメイクキャンドルを発売しました。そして五代目となった今、障がい者施設と連携を組み、使用済みローソクの回収、使用済みローソクのリメイク、葬儀社へ向けたオリジナル線香・ローソク制作を行っています。

野田さんは佐世保市生まれ。大学卒業後、大分県で就職、25歳で家業である(株)野田武一商店に入社しました。26歳の時に社長である、お父様を亡くします。それと同時に当時主要取引先であった日用雑貨商社から取引を解消され、(株)野田武一商店の方向性を模索することになり、そこで線香ローソク企画制作、使用済みローソクのリメイク事業を手掛けるようになりました。

また、今回のお話を伺う中で野田さんが非常に多才な方であることを知る事ができました。ご自身では「特技は落書き」とおっしゃっていますが、個性的で素晴らしいイラストを書かれます。その特技を活かし、書き下したイラストでオリジナルのパッケージの製作や「名前のポエム」の販売もされています。さらには1月の賀詞交歓会では見事な空手の演武を披露していただき、参加した皆様の記憶には新しいことと思いますが、なんと空手で国体には7回出場し、一昨年の長崎がんばらんば国体では審判を務められたそうです。



＜もったいない＞

葬儀の世界では、まだ使えるローソクであっても処分しなければならないことがあります。それは使い回しをすることで信用をなくすことがあるからです。「もったいない」と思っているにもかかわらず処分するしかないローソクや、型が古くなって入れ替えのために処分されることになったまだまだ使えるローソクを作る機械をどうにか活かすことができないかと野田さんは考えました。そこで、各地域の障がい者施設と連携し、使用済みのろうそくを回収してもらい、回収されたローソクを種類ごとに分別、再び新しいローソクとして作り直すことに取り組みました。その時に製造で使う機械もローソクメーカーで使われなくなった機械を譲り受けて使用しました。

そして人材においても、障がい者施設と連携をすることにしました。それは障がい者であっても、しっかりと仕事ができる人材はたくさんいるからです。健常者に比べると物を覚えるスピードが遅かったりすることもあるかもしれませんが、しかし彼らは一所懸命、仕事に取り組んでくれます。そういう人たちが活躍できる場所を提供していきたい。そんな思いから、障がい施設との連携を行っていこうと決めたのです。

こうして障がい者と使用済みローソクと古くなった機械。なかなか社会で活躍する場がなかった「もったいない」財産をフル活用して、(株)野田武一商店の商品は作られています。



<これから>

障がい者施設との連携にあたり、スポンサーでもある佐世保支部の原田さん(社会福祉法人 宮共生会)には大変お世話になったそうで、「原田さんがいなければ今のような事業はできなかった。これから事業をしっかりと軌道にのせ、原田さんに立派になった事業所を見せることが恩返しになると思う。そのためにも経営指針の成文化に取り組むことを目標としている」

ということを最後に語られました。

今回は長時間にわたるインタビューに快く応じていただき、ありがとうございました。これからの野田さんの同友会活動・本業ともにさらなるご活躍を祈念いたします。

<(株)野田武一商店>

「経営理念」

私たちは、関わるすべての皆様と共に物心両面において豊かな人生を創造し地域社会に貢献してまいります。

〒859-3711

東彼杵郡波佐見町井石郷2255-8

電話 0956-76-7000

FAX 0956-76-7100

(文責 事務局 田口 友廣)

新入会員の皆さんです<2月入会>

(敬称略)

<入 会>

支 部 名	五島支部		
氏 名	やまなか みつゆき 山中 満幸		
企 業 名	(株)JAごとう葬祭		
役 職 名	JAごとう葬祭 浄倫会館 取締役支配人		
企 業 住 所	〒853-0041 五島市籠淵町2450番地		
T E L	0959-72-8211	F A X	0959-74-5266
業 種	葬祭業		
企 業 P R	五島地区の葬儀社として地元のつながりを大切に、これからも精一杯頑張っていきます。		
スポンサー	森 勝昭		

投稿募集のご案内

DOYOU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約 500 字

●画像/歓迎します

☐掲載/情報広報委員会にて選考

☐投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

☐メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。**A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。

第45回 定時総会案内

日時：4月15日(金) 13:20 会場：ホテルニュー長崎

記念講演 中同協 経営労働委員長
福岡同友会 代表理事
(株)ヒューマンライフ 代表取締役

中山 英敬 氏

4月総会・例会案内

●長崎支部（浦上地区会・出島地区会合同）

日 時 4月22日(金) 18:00
 会 場 サンプリエール
 内 容 支部総会
 地区会(新支部)総会
 懇親交流会

●大村支部

日 時 4月21日(木) 18:30
 会 場 長崎インターナショナルホテル
 内 容 支部総会

1 年の集大成と、来期活動に向けて

●諫早支部

日	時	4月20日(水)
会	場	未定
内	容	支部総会

●島原支部

日	時	4月21日(木) 19:00
会	場	HOTEL シーサイド島原
内	容	支部総会 2015年度の活動報告および決算報告、 新旧役員の改選、2016年度の活動目標と 予算案など

15日の県総会を終えた6日後ですが、島原支部の総会を開催致します。2015年度の活動報告および決算報告、役員の改選、2016年度の活動目標と予算案など。会員の要望・相談にえられる会として来期1年間の学びの目標と、同友会三つの目的の達成に向けて、会員全員で決意・結束を新たにする機会でもあります。e.doyu返信率100%は2年連続達成。会員例会参加率 平均64%超。あたり前の結果ですが皆様の学びに対する意識の現れと思います。皆様におかれましては御多忙と存じますが、新体制で臨む来期のスタートを是非！100%参加による開催で会員の皆様全員と共に迎えて2016年度、更なる同友の輪が広がる事を心よりお願い申し上げます。 島原支部 役員一同

●佐世保支部

日 時 4月20日(水)
会 場 セントラルホテル
内 容 支部総会

●北松浦支部

日	時	4月21日(木)
会	場	未定
内	容	支部総会

●五島支部

日	時	未定
会	場	未定
内	容	未定

●青年経営者会

日	時	未定
会	場	未定
内	容	未定

A 10x10 grid of plus signs (+) on a white background. The grid is composed of 10 rows and 10 columns, totaling 100 plus signs.

3月理事会 議事録 抜粋

3月3日(木) つくば倶楽部

開会挨拶－松尾代表理事

年度末のお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。本日の理事会で600名を達成できなかったことは大変残念ですが4月の総会まではまだ時間があります。ぜひ皆様の協力のもとよろしくお願いします。本日は新旧理事会ということで来期に向けてまた活発な意見交換ができればと思います。1月の中同協幹事会で北海道の守代表からいただいた言葉をもってご挨拶いたします。①常に問題意識を持って行動しよう ②毎日自社の経営課題を確認しよう ③本音で話して共に学べる同友会をつくろう、本日はよろしくお願いします。

仲間づくりについて

- 1)入会・復会・退会の承認について－
8名の入会、2名の復会、5名の退会を承認

杉本仲間づくり委員長総括－

なんとか今月で600名を達成したかったのですがあと1歩及ばず大変悔しい気持ちです。ただ支部長や委員長の熱い想いは継続していると感じています。今後は増強の「強」の部分も取り組んで行くために各委員会の協力をいただき進めていきたいと思えます。また600名を達成したら700名もきつとすぐ見えてくると思えます。次期西山委員長に託したいと思えますので引き続き皆様ご協力よろしくお願いします。

(西山次期委員長)

山領さん、杉本さんからの流れを受け第4次ビジョンにもある1000社に向けて皆さんと連携して進めていきたいと思えますのでよろしくお願いします

(松尾代表)

必ずできます。皆様ご協力よろしくお願いします

協議・承認事項

- 1)2016年度に向けて
・県委員会、支部活動方針案について
→特に修正なし
・2016年度予算案について
(今回提案分)
→中同協関連費、事務局研修費を承認。最終の予算は次回理事会で最終確認。また中同協の専門委員のかたは専門委員会へぜひご参加よろしくお願いします。広報誌の広告について、現状行っている折り込みチラシの積極的活用、周知を情報広報委員会で検討し告知を依頼。フォーラム時なども折り込みを活用する方法も今後検討する
・年間スケジュールについて
→長崎の役員研修会は中同協役員研修会(山口)参加促進のため、を9月10日(土)とする。賀詞交歓会は1月20日(金)とする

(山口次期例会委員長より)

各支部の例会開催日について、来期例会委員会を各支部の例会前に現地で開催し、そのまま委員の方が例会に参加するという予定を検討している。年間予定表では複数支部の例会が重なっているため開催日変更の余地があるのか？

→来期例会委員会で早めに委員会開催の日程を組み、各支部に打診を行う。それを受けて出来る範囲で協力し日程を調整することを確認

・2016年度県人事について

→副代表理事について、来期に関しては現三役の体制で行くことを確認。来期役員研修会や経営フォーラムなどの行事を通して人選、また1年を通して検討していく

- ・長崎支部2支部化について
→支部名を「長崎浦上支部」「長崎出島支部」という地区会、支部からの提案
→上記を承認。4月総会に上程

- ・定時総会について
(前回理事会までの決定事項)
4月15日(金)ホテルニュー長崎、13:30～開催
(今回提案分)
記念講演者について…中同協中山経営労働委員長(労使見解について)
→中山代表理事を承認
式次第案
→開始時間を13:20へ変更して提案。
→式次第案、開始時間等上記を承認

※その他として

- 来賓リスト
- 会費4,000円
- 動員目標に関しては各支部からの申告制とし、県北を松尾代表、県央を金井副代表、県南を辻村副代表がそれぞれ動員担当とする
→来賓リスト、会費、動員目標の申告について承認。五島支部は県南として辻村副代表が担当する。各支部参加目標を次回三役会(3月22日)までに事務局へ連絡する
- ・議案書広告募集について
→一口2,000円とし申し込みを募る。また上限は設けない
→上記を確認。会員に発信する
- ・規約、規定の修正について
→提案内容について、規約の変更を承認。4月総会へ上程する。
規定に関して提案内容を承認
- ・内規集の確認
→内規集を確認。今期の理事会決議事項を記載しているため各支部で確認いただき活用できる部分は活用いただく

- 2)第23回経営フォーラムについて
大村支部 大塚真一会員を実行委員長として推薦
→大塚真一会員を第23回経営フォーラム実行委員長として承認。次回理事会から参加を依頼する
- 3)長崎新聞社からの提案について
→まずは同友会を知っていただくために例会にご参加いただくよう各支部で検討いただく
→上記の内容を確認。各支部でオブザーバー(ゲスト)として参加いただくことを検討いただき都度事務局へ連絡いただく。事務局は各支部からの連絡を受け、担当窓口と相談し各支局長および支社長など参加を依頼する
- 4)公正取引委員会との意見交換会について
→6月理事会で企画する方向で進める。また意見交換会は19:00～19:30とし、19:30～21:00を理事会とする
→6月2日(木)の理事会にて意見交換会を開催することを承認

報告・連絡事項

- 1)2月県本部・各委員会・各支部・各地区会等の活動状況について
- 2)例会について(更なる例会の充実をめざして)－尾崎例会委員長任期中、座長制の導入に力を入れてきました。全体的な出席率は思うように上がりませんでした。来期の山口委員長が引き続きご尽力いただけたと思いますのでご協力よろしくお願いします
(山口次期委員長)
来期例会委員長として各例会の質を上げていくために極力全

支部の例会に参加したいと思います。各支部のご協力をよろしくお願い致します

3)中同協 主要行事の紹介

4)2月8日(月) 採用戦略セミナー参加報告(峰事務局次長)

→2017年度新規卒者への就職広報活動が3月1日より解禁になる(昨年より前倒し)。求人票は見る人の立場に。また新卒を採用する際、「人が足りないからとりあえず採用」ではなく具体的に「この仕事を、業務内容を」という目的意識を伝えたいと採用することが大切である。またメンター制度という方法もあり「メンター(相談役:先輩)」と「メンティー(相談する人)」という仕組みの社員共育もありますのでぜひ興味があればご活用ください

5)2月13・14日(土・日) 第5回経営指針策定セミナー開催報告(宇土次期経営労働委員長)

→12名の参加で開催しました。今回指針完成者は1名。その他の方は従来の指針書を見直し、最後は全員発表を行いました。今後も開催していきますのでご参加ください

6)2月18・19日(木・金) 香川全研参加報告(峰事務局次長)

→税制の分科会を選択。最終的には憲章・条例の理念に基づき強じんな中小企業をつくろうというまともに終わった。記念講演は徳武産業の十河会長。参加された山領会員、村上会員含め会場が号泣するほど響く講演でした。高齢で障害のため靴を履く事が出来ない方のために左右違うサイズの靴や片方だけの靴を販売している会社です。お客様、地域、社員に必要とされる会社を知ることができとても感動しました。いつか長崎にもお招きしたいと思います。また法政大学坂本先生の日本で一番大切にしたい会社にもご紹介されていますのでぜひご一読ください

7)2月26日(金) 留学生と企業との意見交換会参加報告(松尾代表)

年間2200~2300人の留学生のうち30名が長崎で就職、60名程が他県で就職という現状。この意見交換会ではグループディスカッションもあり留学生の貴重な意見も聞くことができました。今後このような企画はまた案内していきますのでご参加ください

(峰事務局次長)

日本で就職したいという強い気持ちを持った学生なので意識

は高いと思います。人材不足が深刻な課題となっている今留学生雇用という本格的なダイバーシティー経営の選択をしなければならぬ時期にきているかもしれません。また留学生が学校で専攻した分野と内定をもらった会社の業種が異なる場合、入管の審査で内定取り消しという事例があるとのこと。行政書士の方がそのような就労ビザに関する相談に乗っていただけるとのことです

8)金融機関ポスター配布状況確認

→各支部金融機関訪問済み、進行中の支部など情報を共有。同時に会員へのポスター持参も確認。進行中の支部は引き続き配布と掲示依頼をお願いします

9)3ヶ月会費滞納者について

→3名を確認。引き続き支部長の協力をいただきお支払いいただくよう依頼する

10)その他

留意事項

1)2017年 中同協役員研修会について-5月開催予定。今後は代表者会議で進捗を協議する

→大村で開催することを決定(2015年11月理事会)

2)2019年中小企業問題全国研究集会(全研)について

ニュー長...立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室
ベストウェスタン...立食1000名、椅子900名、分科会対応最大6室

※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能

→長崎市で開催することを決定(2015年11月理事会)

※実行委員長の検討開始

閉会あいさつ-辻村副代表理事

本日は長時間ありがとうございました。お疲れ様でした。残念ながら今回の理事会では600名の達成は叶いませんでした。4月の理事会では600名を達成しましょう。本日はお疲れ様でした。

次回日程-理事会...4月7日(木) 場所:未定(※新旧理事会)

会員消息

●企業住所等変更

岩崎 誠一 会員(長崎支部 出島地区会)
新会社名:(株)岩崎商事 長崎シティホテルアネックス3
新業種名:飲食業・ホテル業

城尾 忠明 会員(長崎支部 出島地区会)
新役職:相談役

分部 高 会員(長崎支部 出島地区会)
新会社名:(株)AQUA GROUP
新役職:代表取締役

山本 進 会員(大村支部)
新住所:〒856-0820 大村市協和町799-1

朝永 憲法 会員(佐世保支部)
新TEL番号:0956-80-1395
新FAX番号:0956-80-1395

中本 茂 会員(五島支部)
新会社名:(株)中本製麺
新役職:代表取締役

新事務局員紹介

10月1日より入局させていただきました、宮崎勝子と申します。主に経理業務を担当させていただいております。

1日も早く会員の皆様のお顔とお名前を覚えて、スムーズな対応が出来るように頑張りたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

会 員 数 (3月1日現在)

	長崎	(浦上)	(出島)	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	252	138	114	81	81	60	141	55	30	700
期首	198	109	89	64	63	46	111	45	23	550
現在	200	112	88	67	71	55	123	46	26	588

退 会 者 (敬称略)

会 員 名	会 社 名	支部・地区会名	入会年月
里 見 行 義	サトミメディカル	長 崎 ・ 浦 上	1989年 1月
鶴 田 公 成	長崎電設(株)	大 村	2009年12月
武 宮 雄 志	司法書士 武宮事務所	佐 世 保	2014年 7月
西 田 伸 吾	ジブラルタ生命保険代理店	北 松 浦	2015年 8月
山 田 能 新	平戸緑化土木(有)	北 松 浦	2001年11月